

指導普及

1 養殖指導

県内の養殖業者に対し巡回指導を行うと共に、随時魚病診断及び治療、水質環境調査、養殖技術情報伝達等を行った。

(1) 養殖業者指導

マス類養殖業者 30 経営体、アユ養殖業者 3 経営体、ニシキゴイ養殖業者 6 経営体、その他魚類養殖業者 2 経営体を巡回し、飼育環境を点検すると共に養殖技術に関する指導を行った。

(2) ビブリオ病ワクチンの使用に関する指導

ビブリオ病ワクチンの使用に際し、業者からの申請に基づき、その都度現地調査及び魚病検査を行って使用指導書を発行した。

平成 29 年度の使用指導書の発行はニジマスのみで 7 件であった。

魚種	指導書発行件数	使用業者件数	使用量
ニジマス	7 件	4 経営体	135.5 L

(3) KHV 病対策

○ KHV 病発生状況

平成 29 年度は発生が無かった。

○ KHV 保菌検査

当所産マゴイ 60 検体について、農林水産省が示した特定疾病ガイドラインに準拠し、PCR 法を用いて一次診断を行った。その結果、すべての検体が KHV 陰性と診断された。

(4) 輸出錦鯉衛生証明の発行

山梨県輸出錦鯉衛生証明事務取扱要領に基づく、輸出衛生証明書発行ガイドラインのリスト登録養殖場は 5 経営体で、これらの養殖場に対して次のとおり衛生証明書を発行した。

平成29年度の輸出錦鯉衛生証明書発行件数

国名	回数
アメリカ	5
イギリス	8
マレーシア	12
ヴェトナム	1
スウェーデン	3
ウクライナ	3
デンマーク	1
計	33

(5) 魚病診断件数

平成29年1月から平成29年12月に、当所に持ち込まれた検体および現地で採取した検体について魚病診断した結果は次のとおりである。

	ニジマス	ヤマメ	サクラマス	アマゴ	イワナ	ヒメマス	マスノスケ	アユ	ニシキゴイ	コイ	フナ	ホンモロコ	トラフグ	タマカイ	チヤイロマ	タマカイ×	合計
● 単独感染																	
(ウイルス性疾病)																	
1 IHN	1	3		1													5
2 KHVD																	0
3 OMV																	0
4 ACGD								2									2
5 VNN															1		1
(細菌性疾病)																	
6 せつそう病					1												1
7 ビブリオ病	1																1
8 細菌性鰓病																	0
9 細菌性腎臓病																	0
10 冷水病	7																7
11 運動性エロモナス症																	0
12 連鎖球菌症																	0
13 カラムナリス症																	0
14 穴あき病																	0
15 細菌性白雲症																	0
16 エドワジエラ・イクトルリ感染症								1									1
17 滑走細菌症													1				1
(真菌症)																	
18 イクチオフオヌス症	2																2
19 胃鼓張症																	0
20 内臓真菌症																	0
21 水カビ病																	0
(寄生虫症)																	
22 キロドネラ症																	0
23 白点病 (淡水魚)																	0
24 白点病 (海水魚)														1			1
25 エルガシルス症																	0
26 ギロダクチルス症																	0
27 ダクチロギルス症																	0
28 トリコディナ症												1					1
29 グルゲア症																	0
30 チョウ症																	0
31 テトラオンクス症																	0
32 腸管鞭毛虫症																	0
33 イクチオボド症																	0
34 エピスチリス症																	0
(水質異常)																	
35 ガス病																	0
● 混合感染																	
1+5	1																1
1+9	5																5
1+5+6				1													1
1+6+9	1																1
1+9+16	1																1
1+19+23	1																1
1+9+23+25	1																1
7+9						1											1
7+23				1													1
9+19								1									1
9+29	1																1
19+23	1																1
不明	1	1															2
合計	24	4	0	3	1	1	0	4	0	0	0	1	1	1	1	1	41

2 増殖指導

河川湖沼の漁協等に対して増殖に関する指導を行うとともに、随時環境調査や増殖技術情報の伝達を行った。

(1) 漁協指導

月日 (回数)	対象 (人数)	内 容	担 当
4月19日～ 3月22日 (14回)	河口湖漁協 (延べ35)	ワカサギ増殖指導	名倉、青柳、大浜
6月9日	峡東漁協(4)	オイカワ人工産卵床造成	加地
7月7日	富士川漁協 (2)	アユの増殖方法について	加地、芦澤
7月18日	峡東漁協 (3)	アユの増殖方法について	加地、芦澤
7月28日	河口湖漁協 (10)	魚類生息状況調査指導	望月、名倉
8月22日	山中湖漁協 (3)	ワカサギ増殖指導	大浜、名倉
10月5日	峡北漁協 (5)	溪流魚人工産卵場整備	大浜、望月、青柳
1月11日	峡東漁協(5)	溪流魚の増殖方法について	加地
2月19日	峡北漁協 (2)	アユの増殖方法について	芦澤
3月7日	河口湖・山中湖漁協 (4)	ワカサギの増殖方法について	大浜、名倉、青柳
3月22日	西湖漁協 (3)	ワカサギ増殖指導	名倉

(2) 関係機関指導

月日 (回数)	対象 (人数)	内 容	担 当
4月5日～ 3月30日 (13回)	山梨県漁連 (延べ26)	カワウ繁殖抑制指導	加地
4月21日	県土整備部河川砂防担当者 (100)	河川砂防担当者会議講師	青柳
4月24日	南アルプス市 (6)	サツキマスプロジェクト調査計画指導	望月、青柳
6月1日	峡南建設事務所(3)	魚道設置指導	大浜、望月
11月24日	中北農務事務所 (5)	外来魚駆除技術指導	大浜、加地
2月8日	峡南建設事務所 (4)	魚道設置指導	大浜
2月23日	富士河口湖町 (5)	クニマスの保全について	大浜、望月
3月12日	忍野村(2)	カワウ対策について	加地

3 普及

(1) 講習会の開催

- 養殖技術講習会 平成30年1月24日 県漁連水産会館
「観賞魚輸出の現状と問題」
新潟県内水面水産試験場 病理環境課長 佐藤 将 氏
- 増殖技術講習会 平成29年7月3日 県漁連水産会館
「内水面漁協の現状と経営安定化のための方策について」
中央水産研究所内水面研究センター 漁場管理グループ長 中村 智幸 氏

(2) 水産技術センター便りの発行

県内水産関係者向けに、山梨県水産技術センター便り No.63,64 を発行した。

(3) 行事等への協力

4月29日	水辺の探検隊（青柳）
7月22日	川の探検隊（青柳）
7月29日	水辺の探検隊（青柳）
8月6日	水辺の探検隊（加地）
8月30日	甲斐駒清流懇話会 砂防郊外授業 講師（青柳）
10月15日	日川人工産卵場造成指導（加地）
10月28日	山梨大学河川研究会記念講演（大浜）
11月13日	甲斐駒清流河川視察研修会（加地）
11月18日	山梨県錦鯉品評会審査委員長（大浜）
12月17日	クニマス保全ツアー（大浜）
3月10日	甲斐市フットパス 本所センター内見学（名倉）

(4) 新聞雑誌への掲載等

月 日	新聞雑誌名	内 容
4月6日	山梨日日新聞	アユの稚魚出荷始まる
4月6日	産経新聞	県水産技術センターアユ稚魚出荷はじまる
4月15日	山梨日日新聞	クニマス成魚里帰り 県水産技術センター秋田・仙北市に貸与
4月25日	産経新聞	西湖のクニマス生態解明へ前進 産卵撮影に成功
5月9日	山梨日日新聞	クニマス人工養殖へ前進 県水産センター 繁殖環境を「最適化」
5月10日	山梨日日新聞	クニマス10匹故郷へ 県が秋田の施設に貸与
5月10日	朝日新聞	クニマス元気でね 秋田へ里帰り 養殖技術の確立課題 奇跡のクニマス田沢湖に「里帰り」 10年に生息確認 山梨から輸送
5月10日	読売新聞	西湖クニマス秋田帰郷 7月開館仙北「未来館」に展示
5月10日	毎日新聞	クニマス秋田「里帰り」 県水産技術センター飼育の10匹
5月11日	山梨日日新聞	クニマスおかえり 秋田の施設「飼育頑張りたい」
5月11日	読売新聞	クニマス元気に到着
5月17日	山梨日日新聞	クニマス飼育法を研修 秋田・仙北市 西湖へ職員派遣
5月17日	山梨日日新聞	カワウからアユ守れ
5月21日	朝日新聞	希少クニマス 人工飼育に奮闘
5月25日	山梨日日新聞	アマゴ サツキマスに成長 富士川流域で確認 自然繁殖の期待高まる
6月22日	読売新聞	クニマス漁船来たる 秋田・仙北市寄贈 現存2隻のうち1隻
6月23日	山梨日日新聞	6月議会知事所信表明要旨 秋田県へのクニマス貸与
7月2日	読売新聞	クニマス古里でスイスイ 秋田・仙北に「未来館」
9月28日	読売新聞	県産新魚業者で養殖 11月にも実験 卵数万個県が提供
11月3日	山梨日日新聞	肉食外来魚再び生息 本栖湖、西湖でコクチバス確認 県が調査へ
11月15日	山梨日日新聞	新魚の名は「富士の介」 あす養殖開始、20年に流通
11月15日	山梨日日新聞	キングサーモン×ニジマス 県の新ブランド魚命名 富士の介
11月15日	読売新聞	ブランド魚命名「富士の介」 初出荷2020年予定
11月15日	毎日新聞	新養殖魚の名称「富士の介」 「山梨のブランドに」知事
11月17日	山梨日日新聞	「富士の介」養殖へ 受精卵 業者へ引き渡し
11月17日	朝日新聞	富士川アユの魚道遡上6万～10万匹 静岡の委員会評価分かれる
11月28日	山梨日日新聞	県水産技術センター 低魚粉でニジマス養殖 飼料コスト減技術確立
11月29日	毎日新聞	低魚粉飼料でも成長ニジマス 県水産技術センターなど開発
12月4日	みなと新聞	低魚粉で育つニジマス開発
12月21日	朝日新聞	「奇跡のクニマス」児童書に 秋田県出身 豪在住の作家が出版
1月3日	琉球新報	山梨で新魚養殖 20年出荷目指す サーモンとニジマス交配

月 日	新聞雑誌名	内 容
1月18日	信濃毎日新聞	山梨県開発の養殖魚 「富士の介」 です。よろしく キングサーモン×ニジマス 東京五輪の2020年 初出荷目指す
2月2日	産経新聞	脂乗り味に深み「富士の介」 試食会
2月2日	山梨日日新聞	「富士の介」 評判上々 新ブランド魚甲府で試食会
2月2日	朝日新聞	「富士の介」 味は？ 関係者ら意見交換
2月3日	毎日新聞	県開発の新魚甲府で試食会 「富士の介」 評判上々
2月18日	朝日新聞	「富士の介」 の生みの親 三浦正之さん
2月18日	静岡新聞	山梨開発 新魚を養殖 キングサーモン×ニジマス 「富士の介」 20年初出荷へ
3月7日	山梨日日新聞	新魚・富士の介 県が試食会開催「味もっと良くなる」
3月7日	読売新聞	富士の介県議30人が試食 ブランド魚「ワインや日本酒に合う」
3月24日	山梨日日新聞	クニマス代理親から誕生 県水産技術センター ヒメマスに細胞移植
3月24日	読売新聞	クニマス「代理親」で誕生
3月28日	毎日新聞	代理親でクニマスふ化 県水産技術センター成功

(5) 視察及び見学

○ 本所関係

月 日	内 容	受入人数
7月4日	甲府第一高校生徒見学	7名
7月19日	農政部若手職員研修Ⅰ	19名
7月20日	政務調査視察（リベラル山梨）	5名
8月22日	インターンシップ（山梨大学3年生・山梨学院大学3年生各1名）	2名
11月6日	農政産業観光委員会現地調査	9名
1月29日	春日居町養鯉組合視察	20名
3月10日	甲斐市フットバス見学	60名
3月12日	インドネシアガジャ・マダ大学ジュマント助教授視察	4名
3月27日	インドネシアジョグジャカルタ特別州訪問団見学（州知事・議員・農業局・インドネシア大使館他）	21名

○ 支所関係

月 日	内 容	受入人数
5月12日	日本獣医生命科学大学倉田教授、留学生見学	3名
8月28日	甲府南高校 SSH 生物講座	40名
9月28日	山梨大学山梨 CST 養成プログラム	14名
10月23日	長野県 大北漁業協同組合連絡協議会・大町市漁業協同組合連絡協議会視察	20名
11月20日	インターンシップ（北里大学3年生、24日まで）	1名
11月24日	富士の介知事視察	8名
12月1日	東海大学採卵実習	15名
3月12日	インドネシアガジャ・マダ大学ジュマント助教授視察	4名
3月14日	奈良県 布目川漁協視察	14名

(6) クニマスの貸出実績(尾)

期 間	標本	生体	申請者	展示場所
5月9日 ～	0	10	秋田県	田沢湖クニマス未来館